

決	議 長	局 長	主 事
裁			

受付

報 告 書

令和 年 月 日

湯前議会議長 倉本 豊 様

湯前町議会議員

議員派遣として参加（出席）した研修（会議）の内容（結果）は、次のとおりでありました。

期 間	令和 3 年 1 0 月 6 日（水）
場 所	湯前町役場応接室（オンライン研修）
目 的	令和 3 年度 熊本県町村議会議員研修会

報 告 の 内 容	1. 研修内容 講 師：流通経済大学教授・ジャーナリスト 龍崎 孝 氏 演 題：「日本の政治経済の展望」 ～自民党総裁選挙から衆院選へ～ 研修内容： （1）自民党総裁選の総括 （2）政府と自民党の勢力図 （3）経済政策の行方（ふるさと納税とG o T oキャンペーンの例） （4）衆議院選挙の動向
-----------------------	--

2. 所感 （※議会・議員として、どう関わるか）

- ・自民党総裁選では、国会議員と党員の温度差を感じた。党員は「党の刷新」や「世代の交代」に期待していることが伺えたが、マスメディアに大きく影響された感もある。一方、国会議員は政局を一番把握されており、新自由主義からの決別が大きな争点だったと理解している。結果的に岸田氏の勝利は、日本にとっても人吉球磨にとっても、極めて重要な局面だったといえる。今回の総裁選を通じて、新自由主義による競争の原理が日本にとって危険な選択であったことを再認識した。
- ・岸田政権での閣僚人事で、地元選出の金子大臣が誕生したことに、大きな期待を寄せている。岸田総理には、公約である新自由主義からの決別や所得倍増(労働分配率の見直し)など、成長と分配による「新しい資本主義」をしっかりと実現していただきたい。そのためにはP B黒字化目標を一旦凍結し、大胆な財政出動により、国内所得の循環を進めていただきたい。
- ・新閣僚の主要4ポスト(財務大臣、経産大臣、外務大臣、内閣官房長官)に、それぞれ鈴木氏(麻生派)、萩生田氏(細田派)、茂木氏(旧竹下派)、松野氏(細田派)が就任し、背後には3 A(安倍氏、麻生氏、甘利氏)といわれるベテラン議員の影響を見ることができる。私は、背後関係うんぬんより、岸田総理の公約を推し進めることができる自民党に期待している。権力あるベテラン議員の先生方には、ぜひ岸田総理の公約実現に向けたご支援をいただきたい。
- ・ふるさと納税とG o T oキャンペーンは、自治体や関係事業者の間で競争をさせ、競争力のないところは退場するという新自由主義的な一面があることを感じた。強いものが得をして、競争やお金で解決する政策から、積極的な財政投資で中小企業まで血が通う政策になることを期待する。
- ・内閣支持率が低調の中で衆議院選挙を向かえることになり、厳しい戦いが予想される。10月の短期間で、各党がどのような政策を打ち出すのか注目したい。自民党が岸田総理の公約を実現できる政党であるかを、選挙戦で見極めたい。